

東和地域支援室通信

令和4年8月号

東和総合支所地域振興課地域支援室：東和町土沢8区60 電話 41-6514(直通)

生涯学習講座 申し込み受付中です



女性学級

8/30(火) 13:30～15:30 マーブルアート体験
～ビー玉とワイヤーで作るオリジナルリース～
会場：東和総合支所1階 第1会議室
参加費：2,000円 申込期限：8/23(火)



歴史学習

8/23(火) 8:45～12:30頃
石碑や御堂から探る「祈りと信仰」
第1回 浮田・毒沢・中内地区バスツアー
東和総合支所駐車場発 参加費：無料
申込期限：8/19(金)



古文書 講座

8/24(水)、9/28(水)、10/26(水)、11/22(火)、12/27(火)【全5回】
14:00～16:00 各回2部構成(基礎講座・解説講座)
会場：東和総合支所1階 第1会議室 参加費：無料
申込期限：8/23(火) ※期限後も随時受付



申込先…東和総合支所地域振興課地域支援室 ☎41-6514

移住・定住ミニ情報

※空き家の管理について

お手持ちの空き家がある場合、管理はどのようにされていますか？

空き家バンクの登録有無に関わらず、周辺管理や現状確認などは必要ですし、空き家の状態によっては、空き家バンクに登録できない場合もあります。家屋の状態の良いうちに登録をお勧めします。

なお、空き家の草刈り等の周辺管理や現状確認などについては、公益社団法人花巻市シルバー人材センターが、市との協定により『イーハトーブ空家等管理代行事業』を行っております。内容、料金などは直接お問い合わせください。(電話24-0556)

【問合せ】

☎花巻市役所定住推進課定住推進係 41-3516

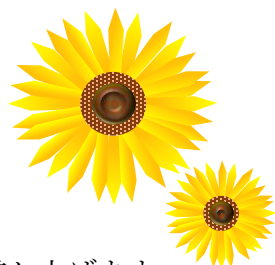
☎東和地域

受付場所：東和町土沢5区372番地 東和おもしろ作戦研究所内

TEL：29-6500 FAX：29-6501 Eメール：omoshiro@leaf.ocn.ne.jp

受付時間：月～金 9:00～12:00 担当：菅野 大石

そのほかの時間帯は留守番電話に入れていただければ折り返し連絡を差し上げます。





元地域おこし協力隊の岡田芳美さんによる連載企画。『イージュはなまき』はリターンの岡田さんとIターンの旦那さんが発起人となり立ち上げた移住者のためのプロジェクトです。『イージュ』は“移住”と“いい住まい”の意味。さらに奥田民生さんの「イージュ★ライダー」へのオマージュを込めているそうです。

こんにちは！イージュはなまきの岡田です。今回は東和町成島地区（小通・こがよう）にお住まいで地域おこし協力隊の先輩でもある、松阪さんにお話しをお聞きしました。

☆.+☆.+☆★インタビュー 第2弾 松阪 廣剛（ひろたけ）さん ★☆.+☆.+☆

▼岩手・花巻に来る前は...

生まれは神奈川県。小さい頃に千葉県に移りましたが、郊外なので普通にザリガニを捕まえたりしていました（笑）大学・大学院では、環境や農林業が専門でした。

震災をきっかけに転職や移住を考えていた頃「移住フェア」に花巻市が出席していて。その翌月には趣味だった自転車を抱えて旅行に来ていました。景色が綺麗で、自転車で走るととても気持ちよかったことを覚えています。そして7年前の夏、地域おこし協力隊として着任しました。



松阪さん似顔絵

▼地域おこし協力隊とその後...

東和地区の農業担当として活動をはじめ、2年目には新規就農を決意。空き家（できれば農地付）を探し始めましたがなかなか見つからず...まずは農地だけお借りし、今年やっと今の家に出会いました。任期終了後は、農業と、お声掛けいただいた東和温泉のお仕事などを複業しています。

▼これから...

今年の前半は家のリノベーションで手が回りませんでしたが（全てご自分でやられているのだそう！）少しずつ出荷する産直を増やしたりイベント出店でもできればと思っています。今の家の近くにも畑を借りられたらと思っていますし、胡桃皮細工なんかもやりたくて。ここからです。

移住8年目。ゆっくりと、でも確実に、ご自身の目指す暮らしに向かっていく松阪さん。収穫した野菜（ナスなど）を産直あおぞらに出しているそうですのでぜひチェックしてみてくださいね！

イージュはなまきWEBでは松阪さんのインタビュー全文が読みいただけますのでぜひご覧ください→



東和の生き物12か月

野鳥(サシバ)の研究で修士課程を修了した地域支援室 糸川拓真主査が東和地域で観察できる生き物について解説します。

8月 口から先に生まれた？オオヨシキリ

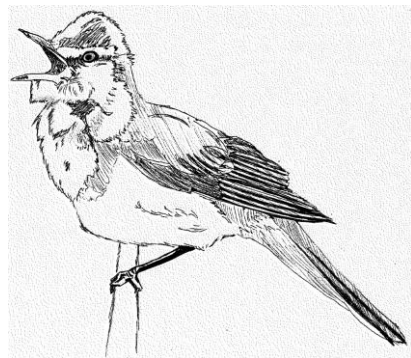
全国的にとっても暑い日が続く今年の夏。東和の町も8月を迎えさらに夏の盛りを迎えました。水の抜かれた田が増え、カエルなどの姿も見えなくなり、夏鳥の子育てもおおよそ一段落を迎えたりと徐々に生き物の活動にも変化が見られております。今回、そんな夏場の河原付近で存在感を示している小鳥、オオヨシキリの紹介をさせて頂きたいと思います。

オオヨシキリは、「大葦切」の名の通り河川付近の葦原などを主な繁殖地とする夏鳥です。オス1羽、メス数羽のチームで縄張りを形成し繁殖を行い、主に水辺にいる昆虫等を捕食します。全長は18cmほどとスズメより二回りほど大きく、全身オリーブ色あるいは茶色を基調としており派手とは言えませんが、実は大きな特徴を持つ小鳥でもあります。

「行々子口から先に生まれたか」という俳句は、動物を題材とした俳句で有名な小林一茶がかつて詠んだ一句です。俳句中にある夏の季語「行々子」は、オオヨシキリの別名で、その名の通り、オオヨシキリのオスが自らの縄張りを強く主張するため「ギョギョシ、ギョギョシ」「ケケス、ケケス、ケケス」ととても響く特徴的な鳴き声から来ています。昔は葦も多くあったと考えられ、またオオヨシキリも良く鳴くので、そのけたたましさに一茶も思わず一句詠んだのではないかな、と思われま。

オオヨシキリは、口をととても大きく開けて鳴きます。口の中が見えることも多く、口の中が赤いのも特徴の一つです。よく似た鳥でコヨシキリという一回り小さな鳥もありますが、こちらは鳴き声の違いの他に口の中が黄色いという特徴で見分けることができます。

葦の減少とともに少しずつ数を減らしていると考えられているオオヨシキリ。その少しやかましい鳴き声は、夏の東和町に豊かな水辺の生態系が残っていることを示しています。



絵：地域支援室伊藤